

基礎作業学実習 1 にて織物に取り組みました (2024.10)

2024年11月29日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「手工芸（趣味）」活動の織物に取り組みました。

課題は、特殊な道具なしに編めるボード織りという手法で、長さ90cmほどの

段ボール板を利用し編み上げる毛糸のマフラーづくりです。

つまみ動作の回数がたいへん多くなりますが、手指の運動になるだけでなく、

作業耐久性の向上に有効で、注意力や集中力も要求される活動です。



毛糸を指でつまんで縦糸に通します



延々繰り返します



仕上げ作業を行って



完成作品の披露です